

# 子供へのお話参考例



## みんなでたすけあって

ある時、おいしそうなカレーライスを前にして、目と耳と鼻と口、そして手と足も加わって言いたいことを言い始めました。

「僕はいつもごちそうを見るだけ。つまらないなあ」と目が言えば、耳が怒って言いました。「なに言ってるんだ。僕だって、いただきます。とか、おいしいなあ。という声を聞くばかり。もう、くやしくなって、くやしくなって」

鼻も負けずに言いました「オイラだって、口の為に匂いを嗅いでいるようなものだなあ」。口もすかさず「いやいやとんでもない。手がごちそうを運んでくれば、ズツと噛みっぱなし。疲れるんだよ。僕が一番の働き者さ」。そこで、手と足が揃って言いました。「そうか、一番楽をしているのは、胃だ。よし、みんなでこらしめてやろう」ということで、みんな、自分の仕事を止めることにしました。

すると、目はグルグル回り、話を聞いても分からなくなり、やがて手足には力がなくなり、動けなくなってしまいました。

そこで、胃が言いました。「僕は楽をしているんじゃないよ。みんなが運んでくれた食物を消化して、みんなの力のもとを作っているんだよ。みんながたすけあって自分の仕事をすれば、みんなはもちろん、身体全体が丈夫になるんだから、頑張ろうよ」

こうして、たすけあいの大切さを知ったみんな。それからというもの、喜んで自分の仕事をするようになりました。

